

# 南丹市教育委員会会議録

平成 30 年第 12 回定例会

(平成 30 年 12 月 19 日)

## 平成30年南丹市教育委員会第12回定例会会議録

1. 日 時 平成30年12月19日(水)  
開会 午後3時30分 閉会 午後5時15分
2. 場 所 南丹市役所2号棟 教育委員会会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 教育長 木村 義二
5. 出席委員 教育長 木村 義二  
教育長職務代理者 武田 義史  
委 員 高屋 毅史  
委 員 城戸 貴子  
委 員 杉尾 光明
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局 教育次長 中川 勇夫  
教育参事 榑 貢  
教育総務課長 福井 修  
学校教育課長 山内 紀子  
学校給食共同調理場所長 村田 文雄  
社会教育課長 寺田 成樹
8. 傍 聴 人 な し

### 日程1 開会

教育長が平成30年南丹市教育委員会第12回定例会の開会を告げる。

### 日程2 会議録作成者の指名

教育長から会議録作成者に福井教育総務課長を指名する。

### 日程3 会議録の承認

## 日程4 報告事項

### (1) 主な行事報告等

(教育次長)

- 11月17日、第14回京都丹波キッズふれあい駅伝が京都府立丹波自然運動公園において開催された。亀岡市、南丹市、京丹波町の各小学校から、30チームが参加し、駅伝競走には、4～6年生の180人が参加し、仲間を信じて互いに声を掛け合いながら襷を繋いだ。駅伝競走の結果は、園部小学校が1位を獲得し、3連覇を果たした。
- 11月21日、主体的・対話的深い学びを実現する研究発表会が開催された。平成30・31年度文部科学省〈主体的・対話的で深い学び推進事業〉の指定に係る1年目の研究発表が園部中学校で行われた。研究主題を、『主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践～生徒に寄り添う「園部中学校学力向上システム」の構築を目指して～』と掲げ、昨年度から、桐蔭学園溝上教授の指導の下で研究実践を重ねている。当日は、園部中学校ブロックの教職員や、他の中学校ブロックからも研究会への参加があり、園部中学校の実践に学んだ。
- 11月30日、心のバリアフリー交流会を、八木ブロックの小中学校や丹波支援学校児童生徒119名のほか、保護者・地域の方をあわせて約170人の参加のもと、パラリンピック車椅子バスケット元日本代表キャプテン根木慎志氏を講師に招き、八木中学校にて開催した。車いすバスケットについては、根木氏による車いすバスケットデモンストレーション、児童生徒、教員による車いすバスケット体験が行われた。またボッチャについては、丹波支援学校児童生徒によるデモンストレーションの後、児童生徒によるボッチャ対戦を行った。最後に根木氏から、児童生徒に心のバリアフリーについて講演をいただき、参加した児童生徒からは楽しく有意義な体験であったとの感想が多数寄せられた。
- 12月3日、南丹市教職員実践報告発表会を開催した。南丹市夏季教職員研究大会において実施する予定であった、昨年度の市優秀教員による実践報告の機会を今回新たに設け、発表を通じた人材育成、また優れた実践発表から学ぶことによる実践的指導力の向上の機会とすることを目的として開催した。
- 12月11日、定例の校園長会議を開催し、冒頭教育長より説示があった。まず業務改善の一環で、来年1月1日よりICカードによる出退勤の本格実施に向けて規則改正を行ったこと、次に教職員の服務規律の確保について教職員に徹底を図り、特に飲酒運転をしないようにすること、また業務改善の集計結果を各職員に確実に伝えることについて指示があった。続いて議会一般質問の答弁に関して、はじめに4キロの地域のバス通学について、再編による整理の過程で1.5キロでバス通学である地域と差があり、今後は個別の対応をするということで、また中1、中2の点数の分析により学力向上の課題を明確にすることや、校長人事ヒアリングについても改めてその重要性について説示があった。その後、園部中学校の野球部が京都府大会を優勝した事に触れ、今までにない快挙であり、夏の大会に向けて頑張ってもらいたいという事や、同校の生徒が人権に関する作文で全国で2番の優秀賞に入ったことは、子どもに対する種まきが実績に現れているという事を取り上げ、他校においてもこのような実績があれば

報告する事。

併せて教職員に対しては、ほめて伸ばすことの大切さを認識する事、新年度に向けた新しい計画づくりを依頼された。

会議においては、指示事項として、第2次南丹市教育振興基本計画の意見聴取と、教職員の服務規律の確保について指示を行い、依頼説明として、平成31年度の南丹市教育の指針の策定とスケジュール、冬季の休業中の生徒指導などの依頼を行った。

■ 12月18日、学校現場における業務改善評価委員会を開催した。

これまでの取り組みに関して、先進的な取り組みとして評価をいただいた。また業務改善事例集で、取りまとめられた各校のベスト3を繰り返し見直し、さらに業務改善が全ての職員に周知できるようにすることが必要という指摘をいただいた。今後においては評価委員会が出された意見を踏まえ、最終年度の目標と総括を行うため業務改善研究会で検討をしていきたいと考えている。

(2) 平成30年12月議会定例会における一般質問について

(事務局)

資料に基づき報告。

(高屋委員)

前田議員からの通学体制に関する質問への市長答弁について、地区からの要望については10年来ではなく30年来であると認識しているので変更をしていただきたい。また途中の内林町までの送迎については、きっかけは通学路上における不審者情報によるものであり、現在では雨の日に関しても区の予算を使ってタクシーでの送迎を現在でも行っておられるので、そういった実態を加味して取り組んでいただきたいと考える。

また4km以上ということについても、少し道を変えると4kmに達する地区もあり、通学路の決め方の基準についても考えていただきたい。

(事務局)

要望の実態について、明確な認識に努めるとともに、ご意見を十分に考え、検討させていただきたいと考える。

(武田職務代理者)

他に4km近い地区はあるのか。

(事務局)

4kmに限りなく近い地区としては、熊崎、新堂地区のみであると把握している。

(城戸委員)

ハッピーボックスの取り組みに関する質問の教育長答弁について、市内中学

校で取り組みを進めている「ありがとうの木」は良い取り組みであると考えますが、いじめの被害にあう子は、メッセージを書いてもらえる機会に恵まれないのではないかと考えるので、その点は課題であると考えます。また、時期に関しても、現在は文化祭や体育祭と同時期に行っているが、その時期は自分の頑張ったことを表明できる形をとり、新学年のはじまりの時期などに行うことができれば、人間関係がまだ発展していないことから、評判などに流されずに人の良い所を自分で考えて見つけることで、一対一の信頼関係がそれぞれ生まれていくので、良いのではないかと考える。

あわせてコミュニティスクールに関して、読書ボランティアとして今年度の一回目に参加をさせていただいた学校で、その後の声掛けがなく、該当校には取り組みに係る呼びかけを継続して行っていただければと考える。

また別の学校では、保護者の割合が少なく感じた。学校の通常業務が忙しい中で取り組んでおられるが、市内でも取り組みが進んでいる学校と意見交換する等して、積極的に取り組んでいただければと考える。

(事務局)

ご意見を今後の取り組みに生かしていきたいと考える。

### (3) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告。

## 日程5 議事

### 議案第40号 南丹市防犯カメラ設置管理要領の一部を改正する要領について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

[採決]

議案第40号について教育長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

### その他 南丹市教育振興基本計画素案の検討について

(事務局)

上記議案について、別紙資料により説明。

(武田職務代理者)

文化財の活用について記載いただいているが、新たな文化財の発掘や指定についても記載があればと考える。地域の文化財を指定することで、子どもたちに自分たちの地域に対して誇りを感じてもらい、将来南丹市を担ってくれるような存在を育むことにつなげられないかと考えるので、文化財を見つけて登録していく文言を入れてもらえたらと考える。

(事務局)

関連項目に「新たな発掘・登録」ということで盛り込んでいきたいと考える。

(杉尾委員)

Society 5.0に関して、本計画と関連付けるなら背景や位置づけ等咀嚼できる言葉を盛り込んでいければと考える。また「社会に開かれた教育課程」という文言について、子どもたちにどんな能力をつけてもらいたいかな具体化してもらえたらと考える。

続いて、「自然体験を経験させたい」とあるが、大人の意図的なニュアンスを感じる。子どもは未知のものを遊びながら発見すると考えると同時に、「経験」は「体験」を含む意味があると考えますが、その意図は何か。

また文化財についても、「魅力を実感して後世に残す」意義や重要性を実感するとしてはどうか。

あわせて食を学ぶというのは、伝統食を学ぶという解釈で良いのか。食べ物から地域の伝統や良さを学ぶ手だてを構築してシステム化するというのもあってもよいのではないかと考える。

最後にダイジェスト版のようなものは製作する予定なのか。

(事務局)

「経験」の意図としては、南丹市は非常に自然豊かであり、ふるさとを愛する心を育むために、地域の中でここだけは一度行って知っておいてほしいという声があり、地域の魅力を次につなぎたいという思いを込めて盛り込んでいる。

また、ダイジェスト版としては、見やすい形で作成して全教職員と全保護者を対象に配布できるようにしたいと考えており、広報「なんたん」の4、5月号でも特集を組んで、市民の方々にも周知できるようにできればと考える。

他にもいただいた意見は勘案させていただきたいと考える。

(城戸委員)

「児童・生徒が地域社会で活躍できる場を創出する」ということで、社会貢献活動を行ってくれて、またその活動が地元につながることを自ら踏み込んで行ってくれるような子に育ててもらえたらと考える。

これはあまり知られていないシステムであると思うが、南丹市で集められた赤い羽根共同募金の一部が地元の南丹市でボランティア活動に生かされており、どこでも募金をできる中で、「募金をするなら南丹市で」というような、社会貢献活動をする中でもさらに地域への愛を持ってくれる子どもに育ててもらえれば、将来も地域の担い手として活躍してくれる人材になってくれるのではない

いかと考える。

(事務局)

これまでになかった視点であると考え。いただいた意見を勘案させていただきたいと考える。

(高屋委員)

教育振興という重要な計画であるので、予算が限られていることもあり、重点的に行うものを決めた方が良いのではないかと考える。

(事務局)

第1章の部分に重点課題を盛り込みたいと考えている。また本計画は10年間で実現したいものとしてまとめており、毎年度本計画をもとにして「南丹市教育の指針」を作成し、重点項目を置いて取り組みを進めているが、この構成についても考えさせていただき、今後進めて行きたいと考える。

## 日程6 その他

(1) 行事予定

(2) 教育総務課から報告

- ・南丹市教職員実勤務調査等の速報について
- ・南丹市教育委員会年末年始の日程について

(3) 学校教育課から報告

- ・各種大会等の実施報告について
- ・学校給食運営委員会の開催について

(3) 社会教育課から報告

- ・平成31年南丹市成人式の開催について
- ・平成30年度人権教育・啓発推進の取組について

(事務局)

上記報告について、資料により説明。

[次回定例会について]

(教育長)

次回の日程について平成31年1月30日(水)午後2時30分から開催としたいがどうか。

(委員)

教育長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午後 5 時 1 5 分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第18条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

南丹市教育委員会教育長

---

南丹市教育委員会教育長職務代理者

---

南丹市教育委員会委員

---

南丹市教育委員会委員

---

南丹市教育委員会委員

---

(会議録調整者)

南丹市教育委員会教育次長

---